

# なかましみんとしょかん 中間市民図書館

## おすすめの本

<小学1・2年>



### 『かみなりせんによといなづませんによ』

パン ガンぶん, チン テラムえ, さいとう まりこやく

こみねしょてん  
小峰書店

たかいところにお空のくにがあって、そこでは、きれいなはごろもをきたせんによたちが、くもをつくっている。ふたりのおちびせんによは、くもをつくるのにあきてしまい、下のせかいをけんぶつしにいくことに。じゃまなはごろもをぬぎすぎて、すっとくもにかくれたけれど、せんによたちにみつかってしまって…。

ほかにもたくさんの本が まっているよ。

みんなで中間市民図書館にきてね！

じどうしょ  
～児童書～

「TRC MARCより

本の内容を紹介

ほん  
2月号

<小学3・4年>



### 『知ったかぶりをした日から』

かさい まり作, おとない ちあき絵

いわさきしょてん  
岩崎書店

とうきょう ほっかいどう てんこう しょうがく ねんせい ふうご はや とも  
東京から北海道に転校してきた小学4年生の風子。早く友だちを  
つく作りたくて、クラスメートに「有名人に会ったことがある」とつい言つ  
てしまつた。その本人が撮影で小学校に来ると知り、風子は何と  
か「本当のこと」にしようと動きだし…。

<小学5・6年>



### 『双子のピアノ』

くらもと ゆうちょ  
倉本 由布著, こりゆ絵

かん  
アリス館

ピアノの天才を双子の兄にもつ水絃は、ある日、近所の楽器博物館で“デュオ・ピアノ”的不思議な声を聞く。ところが、デュオ・ピアノに棲みついていた靈に、取り憑かれてしまい…。自分の気持ちに向合うことに一步踏み出せる物語。

<全学年>



### 『みーちゃん5歳、難民に会いに世界へ行く』

たかぎ しゃしん ぶん  
高木 あゆみ写真・文

さいりゅうしゃ  
彩流社

さい おんな こ たび で せんそう  
カメラマンのママと5歳の女の子・みーちゃんが旅に出た。戦争があつたシリアからベルギーに来た11歳の男の子、イラクで兵士だったおじちゃん…。ふるさとにいては危険だから、別のところに逃げている人=難民について、みーちゃんの目線でえがき、写真で伝える。

<小学1・2年>



### 『どうしてかぜをひくの?インフルエンザになるの?』

しみず なおき しみず かんしゅう  
清水 直樹, 清水 さゆり監修, せべ まさゆき絵, WILL こども知育研究所編著  
きん ほししゃ  
金の星社

かぜをひくと、ねつがでて、せきやはなみずがとまらなくなつて、ほんとうにつらいね。どうして、かぜをひくのかな?かぜとインフルエンザはちがうのかな?かぜやインフルエンザにならないためには、どんなことにちゅういすればいいかな?えほんでたのしく、かぜやインフルエンザについてまなぼう。

<小学3・4年>

### 『おいしいお米をつくりたい!』



たのもと ゆうじょ  
谷本 雄治著

ちょうぶんしゃ  
汐文社

ゆうちゃんこと新宅佑輔くんは、農家の中井知広さんがつくるお米が大好き。「ぼくもつくりたい!」と小学2年生で弟子入りし、田んぼを借りて米づくりを始めた。しかし…。完全無農薬・天日干しにこだわるゆうちゃんの挑戦と地域の人々との交流をえがく。

<小学5・6年>

### 『みんなの居場所』



しらや みえさく  
白矢 三恵作, いつか絵  
ぶんけんしょばん  
文研出版

「子ども食堂」っていう名前、聞いたことはあるんだけど、どういう場所なんだろう。だれでも行っていいのかな?それとも、決まりがあるのか?クラスメイトの玲央と陸とまひるは、それぞれ違うきっかけで「ひだまり子ども食堂」に行くことになって…。



### 『まこちゃんとコトバロボ』

むらかみ しいこ作, たんじ あきこ絵  
こうせいしゅっぽんしゃ  
佼成出版社

まこちゃんは、ドリルもしゅくだいも大きい。ある日、ドリルに嫌気がさして外に出かけると、国語のことならなんでも教えてくれるという“コトバロボ”と会います。まこちゃんは、ドリルもしゅくだいもぜんぶコトバロボに丸なげ。でも、だんだん「これでいいのかな」と思うようになって…。



### 『カタミミの森』

こもり かおりさく でくね いくえ  
小森 香折作, 出久根 育絵  
しょうがくかん  
小学館

げんき いっぱいの子ギツネのロビンは、森の仲間たちといつしょに、のんびり暮らしていました。この森には“カタミミ”と呼ばれる大きなオオカミが住んでいて、みんなに恐れられていました。ある日、都からイクサグマがやってきて…。森にしのびよる不穏なかけ。森の平和は守れるのでしょうか?



### 『みんなで見守る地域猫』

たかはし うらら文 ぶん  
高橋 うらら文  
きん ほししゃ  
金の星社

ちいきねこかつどう きんじょ  
地域猫活動は、近所でくらしているノラ猫を地域住民が協力し合つて、みんなで見守る活動。この活動を考えて、普及に取り組んだのは、獣医師の黒澤泰さん。黒澤さんは、なぜこの活動をはじめたのでしょうか。猫の歴史を追いながら挑戦の道のりにせまります。